

夏期反戦合宿のお知らせ

アジア共同行動日本連絡会議

今年も夏期反戦合宿を開催します。みなさんの参加を呼びかけます。

いま、米軍再編とのたたかい、反原発闘争、ともに、とても重要な局面を迎えています。米軍再編をめぐっては、この間の、沖縄のたたかいを先頭とした普天間基地即時返還、辺野古新基地建設阻止のたたかい、岩国基地強化などに反対する岩国市民のたたかいなどによって、日米両政府は追い詰められてきました。しかし、日米両政府は、辺野古新基地建設をあきらめようとせず、そればかりか、普天間基地へのオスプレイ配備を策動し、そのために、岩国基地へオスプレイ搬入を強行してきました。また、時を同じくして高江ヘリパット建設にむけた工事強行を推し進めようとしています。岩国でも、愛宕山米軍住宅建設にむけた動きが進み、艦載機移駐による基地大強化が進められようとしています。沖縄、「本土」各地、全国で、オスプレイ訓練飛行を策動することなど、絶対に許してはなりません。さらに、反原発闘争も、重要な局面にあります。野田政権は、原発推進を明確にし、反対の声を押し切って大飯原発の再稼働に踏み切りました。連日、首相官邸前や関電前では多くの人々が結集し反対の声をあげました。福井現地でも反対闘争が取り組まれました。「国論を二分する」この問題で、野田政権はあえて再稼働を強行したのです。そればかりか野田政権は、原発輸出さえも進めようとしています。大飯原発の再稼働直後、これに抗議し東京での7月16日集会には17万人が集まりました。いま、反原発闘争でかつてなく多くの人々が立ち上がっています。このたたかいを、さらなる再稼働を許さず原発の全廃を実現していくたたかいとしてより強めていく必要があります。こうした状況のなか、反戦合宿では、岩国から田村市議を招いて、岩国の現状と今後のたたかいについてお話をうかがいます。また、被爆二世の会の寺中さんから、被爆二世から見た反原発闘争についてお話をうかがいます。さらに、ノーニュークス・アジアフォーラムの佐藤さんから原発輸出の現状やアジアにおける反原発闘争についてお話をうかがいます。反基地・反原発をひとつのたたかいとしてより進めていくために、夏期合宿への参加、よろしくお願いします。

●日時・8月25日（土）午後1じ～午後9じ

26日（日）午前10じ～正午まで。

●場所・京都市下京区いきいき市民活動センター（京都市下京区上之町38番地 電話075-371-8220）京都駅徒歩8分。京都駅前の塩小路通りを東へ。河原町を超え高瀬川にかかる橋の横。

●参加費・25日1500円、26日500円（二日間全参加2000円）

●プログラム 25日 岩国市議 田村さんから

被爆二世の会 寺中さんから

ノーニュークス・アジアフォーラム 佐藤さんから

26日 8・5沖縄県民大会ビデオ上映、11月岩国国際集会について

●宿は、各自で確保願います。問い合わせは全国事務局まで。

●連絡先・0774-43-8721（自立労連気付）